



洛風だより・ほかほか通信 ～保護者のみなさまへ～

カウンセラーを囲む会・1年をふりかえって

先週、今年度最後の「カウンセラーを囲む会～思春期・子育て・学び合い～」がありました。2年生と3年生の保護者の参加がありました。1年をふりかえってみて、やはりこの囲む会では、子どもの不登校という経験を共有して、話ができる、受け止めてもらえる感じが有難かったという声が異口同音に語られていました。また、日頃不安に思っていることも、「自分だけではない」と思えることによって、少しゆとりを持って子どもの成長を見ることができたという声もありました。

行事が子どもの成長を促していることを 実感することができました

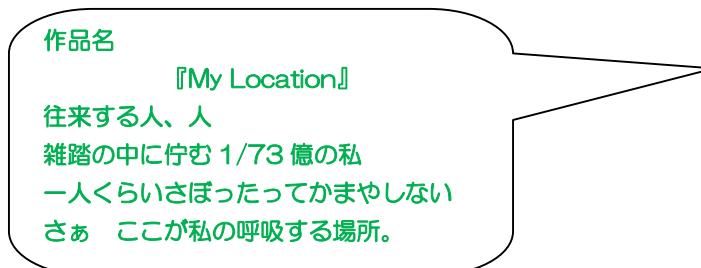
2年生からは、生き方チャレンジ体験での子どもの頑張りが印象に残っているという話も聞きました。ふだんは遅れ気味に登校していても、事業所に向かう時はたとえ雪の降る寒い朝でも、遅れずに家を出していく姿に感心したことなど、それぞれに子どもの持っているを感じたということでした。

3年生からは、修学旅行に行けたことで、自信がついたこと、明るくなり、友だちとの交流も広まったということでした。そして、もうすぐ卒業を迎えるにあたって、洛風に対する感謝の言葉もいただきました。3年生にとっては秋パーティも大きな節目となる行事でした。面接練習で洛風の想い出を生徒たちに聞いても、修学旅行と秋パーティの話が多くかったです。

「仲間とともに」という本校のテーマのように、一人では体験できないことにチャレンジできる経験は、子どもの成長を確かに促してくれます。このような子どもの成長を保護者の方にも実感していただき、子どもを見つめる眼差しがより温かく変わっていくことが、子どもの安心・安定につながり、次のチャレンジへの力となるように思います。

卒業生の素敵なメッセージに出会いました

先日、卒業生の作品展に行きました。そこで、作品に添えられているとても素敵なメッセージに出会いました。



というメッセージです。どうでしょうか？子どもの頃公園や河原のベンチで、手で身体を支え、足をぶらぶらして、何とはなしに佇んでいる。誰にも邪魔されずに静かに呼吸している感覚。「いいなあ、でも最近わすれていたなあ」と感じました。みなさんは、どう思われるでしょうか？

いよいよ3年生は、卒業式まで2週間となりました。それぞれ卒業への思いを持ちながらも、いつものように時間が過ぎて行きます。ご家庭ではどうでしょうか？この洛風での生活をふりかえりながら、お子さんと一緒に佇めるひと時を持てればよいですね。